

## 第 25 回 Pitch to the Minister 懇談会“HIRAI Pitch” 議事概要

### 1. 開催日時・出席者等

- 日時：平成 31 年 1 月 21 日(月)17:15～18:15
- 場所：中央合同庁舎 8 号館 10 階 平井国務大臣室
- Pitch テーマ：デジタルプラットフォームの構築による WiFi の価値最大化及び行政手続きの効率化
- 招へい者：荻田 剛大 株式会社タウン WiFi ファウンダー/CEO  
石井 大地 株式会社グラファー 代表取締役兼 CEO
- 出席者：平井国務大臣、幸田内閣府審議官、三輪 CIO、三角副 CIO、柴崎参事官(IT)、奥田参事官(IT)、堀内参事官(科技)、寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

### 2. 荻田CEOからの説明

- 株式会社タウン WiFi では、社名と同じ「タウン WiFi」アプリさえインストールすれば、複数のフリーWiFi サービスに接続できる環境を提供している。日本は 2000 種類以上の組織が WiFi を提供しており、WiFi ごとに別々の会員登録を行い、都度ログインを要することが課題となっていた。これを解決することが WiFi ユーザーの利便性向上につながっており、既に 500 万ダウンロードを達成している。
- 1アプリ化をすることにより、WiFi 提供者も WiFi をマーケティングツールとして用いることができるようになり、WiFi を提供しているとの情報により来客の促進にもつながる。また、接続に係るデータを分析したり、接続の際に関連情報を提供できるといった利点がある。
- 接続時の認証方法につき、総務省のガイドラインに記載がないために躊躇されることがあるが、ガイドラインは例示に過ぎず、問題はない旨を総務省には確認している。

### 3. 石井CEOからの説明

- 株式会社グラファーでは、種々の行政手続きのプロセスを自動化又は代行することにより、1か所のウェブサイトやアプリで一括して手続きを受け付けるサービスを提供している。日本では事業者だけでもGDP比1%超(年間5～10兆円)を行政手続きに費やしていると推定される。事業者と国・自治体の双方が、手続きを効率化させ、浮いたコストをより高付加価値な業務に回すことができる。
- 行政手続きのデジタル化は、役所側に限ったことではなく、民間側から使い勝手の良いサービスが出てくることで広がる。その担い手として、利用者の声を聴きながら小さな改善を繰り返す経営手法をとるスタートアップが適切であると考えている。

### 4. 質疑応答・議論

- 最近行政側も国民向けサービスについて API(Application Programming Interface)を提供していることから、民間事業者においては是非これを活用して利便性の高いサービスを作り出し、同時に行政は公平公正な制度運営に集中できることが望ましい、との意見があった。
- 今回紹介いただいた事例はいずれも自治体(特に市町村)のニーズに合致する内容であると考えられることから、自治体との連携を一層深めて展開を進めると良いのではないかと、との意見があった。
- アプリの活用による利便性向上に当たっては、高齢者の利便性についても十分に考慮し、取組を進めていくべきではないかと、との意見があった。

(了)

(速報のため事後修正の可能性あり)